

+++++
「植物と人々の博物館メールマガジン」 第12号 2016年3月5日発行
+++++

小菅村でも、雪は路傍に少し残っていますが、梅が咲き終わり、フキノトウも出て、なんとか春めいてきました。

タマネギはやっと定植し、芽が出てきたジャガイモを早く植え付けたいところです。

会員および配信を希望される方に公開活動ニュースなどをお送りします。ご関心のあるご友人に転送などご紹介いただき、

顔のない薄情な「マスコミ」ではなく、顔見知り信頼の「ロコミ」で転送伝達していただけるとうれしいです。連絡先は下記メールアドレスです。

展示解説・作業予定日：3月4日(金)、10日(木)、18日(金)、25日(金)ほか。
参加希望者は木俣にメールしてください。 kibi20kijin@yahoo.co.jp

1. 日本村塾 Nihonmura College for Environmental Studies

伝統知を学び合うことで、「素のままの美しい暮らし」(Sobibo) を勧める。

1) 扶桑くにゼミ第3回

日時：4月～5月の土曜日予定、小金井、読書会：推薦図書：『銃・病原菌・鉄』、上 1900円、下 1900円、ジャッレド・ダイヤモンド著、草思社。

ほか検討中、ご意見があれば、お知らせください。

2) 自給農耕ゼミ第4回

4月～5月未定、藤野、世話人は末村さん、宮本さん。

3) 民族植物学ゼミ第3回

日時：5月4日(水・祝) 小菅村 植物と人々の博物館

公開解説と小展示「欧米の雑穀」。読書会推薦図書：『生業から見る日本史』、国立歴史民俗博物館編、2008、吉川弘文館 3000円。購入不要、

資料は木俣研究員が用意します。

小菅村源流祭り、INCH お祭りキャンプもあります。

4) 自給農耕ゼミ第5回 日時：5月14日(土) 小菅村 雑穀栽培講習会は岡部さん(丹波山村)と中川さん(上野原市西原)による

伝統的な栽培法の指導。雑穀概説は木俣研究員がする。東京学芸大学環境教育専攻生実習予定。

日本で栽培されている雑穀6種とアマランサス、キヌアの種子が必要な方には少量なら差し上げられます。お知らせください。

2. のびと講座『味噌づくり』

3月12～13日 小菅村

3. 環境学習セミナーの準備状況

1) 第37回、6月25～26日(土・日)、

小菅村、山村の豊かさを学ぶ座談会と実技講習、ミュージアム研究会担当。話題提供者：山下祐介さん(首都大学東京)、

白水智さん(中央学院大学)ほか。東京学芸大学環境教育専攻生参加、実習予定。

2) 第38回、9月3～4日(土・日)、

小菅村、自然と暮らす伝統知座談会と実技講習、自然文化誌研究会担当。話題提供者：佐々木豊志さん

(くりこま高原自然学校)ほか。小永田のお神楽見学。

報告 植物と人々の博物館活動

1) 森とむらの図書室の蔵書

原沢文庫(約1500冊)は藤野倶楽部の安心農園「無形の家」内にある森とむらの図書室藤野分室に3月4日に、自然文化誌研究会の軽トラックによって、すべて移動完了しました。小菅では、現在は山村・森林関係、環境・教育関係の図書を優先して整理しています。

蔵書整理状況は下記個人HPの「森とむらの図書室」にあります。

2) 雑穀のさく葉標本の調査、整理をしています。

3) 民族植物学ノート第10号は2016年3月末頃締切で原稿を募集しています。

eメールなどで木俣までお申し込みください。

バックナンバーは下記の公式HP植物と人々の博物館(ミュージアムグッズ)で読めます。

冊子版の第1号はなくなり、

第2～6号は若干の在庫があります。第7～8号はまだあります。第9号雑穀特集英文は配布中です。

.....
植物と人々の博物館は、山梨県小菅村で行っているエコミュージアム日本村(トランジション小菅)のコア博物館です。

これはNPO自然文化誌研究会のボランティアな公民館活動プロジェクトで、小菅村と東京学芸大学の社会連携協定に協力しています。

ご興味のある方が山村の素のままの美しい暮らし sobibo や伝統文化を村人から一緒に学び、継承するプロジェクトに参加して下さると、とてもうれしいです。

自然文化誌研究会が国内外の調査研究によって収集した民具、雑穀標本、図書、雑穀栽培見

本園などを山梨県の山村小菅の暮らしと関係づけて

展示、整理、解説しています。雑穀栽培講習会、日本村塾 3 ゼミ（自給農耕、民族植物学、扶桑こく）、環境学習セミナーなども開催しています。

雑穀街道（さあ山村）を、都市から農山村に暮らし向きを求め、鎌倉街道（いざ鎌倉）と反対方向に創ることを提案しています。

現在の日常活動 ボランティア研究員として、協力していただけると嬉しいです。

1. 雑穀栽培見本園の管理
2. 民具展示の整理、特別展の企画・作製、希望により解説もします。
3. 雑穀標本の整理
4. 農・林学、植物、環境、教育、人類学、およびインド・タイ・中央アジアほか欧米諸国の関係図書の整理、番号付をしています。希望により閲覧できます。

自然文化誌研究会（東京都日野市）：代表 中込卓男、副代表 中込貴芳、小川泰彦
ミュージーズ研究会／トランジション小菅（山梨）：代表 青柳諭、副代表 亀井雄次
事務局：黒澤友彦（小菅村在住） npo-inch@wine.plala.or.jp

植物と人々の博物館：館長 木下善晴（小菅村在住）

日本村塾生・研究員：木俣美樹男（東京）、西村俊（石川）、藤盛礼恵（千葉）ほか
連絡先：木俣美樹男 kibi20kijin@yahoo.co.jp

公式 HP：植物と人々の博物館 <http://www.ppmusee.org/>

自然文化誌研究会 <http://www2.plala.or.jp/npo-inch/>

個人 HP：生き物の文明への黙示録 <http://www.milletimplic.net/>